

三浦半島地区教育文化研究所

市民教養講座～核兵器廃絶への強い願いの継承～

当三浦半島地区教育文化研究所では、年間に親子映画、平和作品展、市民教養講座という、3つの教育文化事業を実施しています。

夏休みに実施した親子映画「窓際のトトちゃん」の上映会には、170人が、また、平和作品展には130人がご来場ください、平和への思いを共有していただきました。

11月1日に実施した市民教養講座では、KNOW NUKE TOKYOの共同代表の中村涼香さんをお招きして、約50人の参加者とともに、核兵器廃絶、平和への思いを共有しました。

中村さんは長崎出身の被爆3世の方ですが、高校時代に所属した「平和学習部」での活動をもとに、平和運動、核廃絶運動をあらゆる場面で、またさまざまな方法を駆使し、その願いを訴え続けています。

戦後80年、被爆者がいなくなってしまう日はすぐそこまで来ている、体験に勝る「伝承」はないけれど、被爆体験のない若い人们にも、関心を持ち、「NO」ということはできること、「NO MORE ヒバクシャ」の強い願いを受け継いで、世界に発信していく活動を精力的に続けています。

中村さんの行動は、人とつながること。イベントや署名活動、ロビー活動、様々な世界会議でも明るく強く訴えを続け、仲間をどんどん増やしていきます。

核の脅威、悲惨さは伝え方によって、受け止める人のトラウマになってしまい、無力感をわかせてしまうことが多いので、まず知ってもらう、関心を持ってもらう、そしてできることと一緒にやろうという思いで、様々なアイディアを出し、入り口を広げています。地球上で唯一の被爆国である日本の若者が、世界にその願いを訴え続けていることに感動し、自分にできることは何かと強く思いました。

当日の参加者は教職員の方がほとんどでしたが、学校には大勢の子どもたちがいて、平和への思いを語りかけ、ともに考えることができます。それが大きな平和運動、「継承」になると思います。



平和作品展 2025.08.01~04



親子映画 2025.08.02



市民教養講座 2025.011.01